

定例会議資料	令和5年高知県警察政策評価について	令和6年2月28日 警務課
<p>1 概要</p> <p>高知県警察運営指針、重点目標及び業績指標について、令和5年中における政策評価を実施した。</p> <p>2 令和5年高知県警察運営指針、重点目標及び業績指標</p> <p>(1) 運営指針</p> <p>高知県の安全・安心を守る強く優しい警察 ～県民に寄り添い、ともに歩む～</p> <p>(2) 重点目標</p> <p>総合的な犯罪抑止対策と子供・女性・高齢者等を守る取組の推進 悪質・重要犯罪の検挙と組織犯罪対策の推進 交通事故から県民を守る対策の推進 大規模災害やテロに対する警備諸対策の推進 県民の期待と信頼に応える警察活動の推進</p> <p>(3) 業績指標</p> <p>刑法犯認知件数が前年より減少するよう抑止対策を推進する。 特殊詐欺の阻止率が65%以上となるよう各種対策を推進する。 悪質な重要犯罪を着実に検挙する。 交通事故総量が前年より減少するよう抑止対策を推進する。 交通事故死者数が25人以下となるよう各種対策を推進する。</p> <p>3 政策評価</p> <p>別添のとおり</p>		

定例会議資料	「高知県の安全安心に係る警察施策研究会」の設置について	令和6年2月28日 生活安全企画課
<p>1 現状</p> <p>コロナ禍を経て、刑法犯認知件数が再度増加傾向にある。 抑止重点犯罪（令和5年：特殊詐欺、自転車盗、万引き）の認知件数は、いずれも増加した。</p> <p>2 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 合理的な根拠のある、本当に役立つ施策は何か ・ 対策の的を絞り、効果的な施策を効率的に行えないか ・ 施策展開に、裏付けのある専門的知見を生かすことは出来ないか <p>3 方針</p> <p>地元研究者と協働し、国や全国の自治体が展開しているEBPMを実践することにより、効果的・効率的施策を樹立するなど総合的な犯罪抑止対策を推進して、高知県の安全・安心を守る強く優しい警察を体現していこうとするもの。 EBPM...Evidence-Based Policy Making / 証拠に基づく政策展開</p> <p>4 研究会の設置</p> <p>(1) 名称 高知県の安全安心に係る警察施策研究会</p> <p>(2) 協力研究者（立上げ時）</p> <p>ア 公立大学法人高知県立大学 文化学部 大井方子教授 イ 公立大学法人高知工科大学 経済・マネジメント学群 三船恒裕教授 ウ 国立大学法人高知大学 人文社会科学部 日比野桂准教授 エ 国立大学法人高知大学 人文社会科学部 渡邊ひとみ准教授 オ 科学警察研究所 犯罪行動科学部犯罪予防研究室 島田貴仁室長</p> <p>(3) 当面の間の調査・研究事項</p> <p>ア 犯罪発生状況の分析に関すること イ 防犯情報の発信に関すること ウ 効果的な広報啓発に関すること エ その他、生活安全部長が必要と認める事項に関すること</p> <p>(4) 事務局 当面の間、生活安全企画課に置く</p> <p>(5) 令和6年第1回会議の開催 令和6年2月29日午後2時30分から</p>		